

# ハンゲショウが見頃です



ハンゲショウ（花の中海）

## ハンゲショウ（半夏生）

科名：ドクダミ科

原産地：日本、中国など

草丈：50～120cm

見頃：7月上旬頃まで

淡路島国営明石海峡公園では、花の中海で、約5,000株のハンゲショウ（半夏生）が見頃を迎えています。ハンゲショウは、葉の半分が白く化粧をしたように色づく様子や、雑節の半夏生の頃に咲くことなどが名前の由来といわれています。関西では、夏至から数えて11日目の半夏生の頃（2024年は7月1日）にタコを食べる習慣があります。東浦ロケット前では、今年もハンゲショウのすぐそばで、ゆでだこ色になったタコの立体花壇がご覧いただけます。

淡路島国営明石海峡公園の「ハンゲショウ」  
を是非ご紹介くださいますようお願いいたします。

## お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター池田・樽尾

ホームページ：<https://awaji-kaikyopark.jp>

★最新情報は“明石海峡公園”で検索。

★本資料カラー版はHPからもご覧になれます。



タコの立体花壇（ベゴニア）